

第3回 JCHO東京城東病院地域協議会 議事録

日 時：平成28年12月8日(木) 14:00～15:10

場 所：病院3階応接室

出席者：岡本江東区医師会長、鵜田亀戸九丁目町会長、福内江東区保健所長、
大塚江東区福祉部長（代理出席：大江江東区福祉部地域ケア推進課長）
中馬院長、竹本副院長、菅原事務長、松邑総看護師長、相原老健看護師長
藤田地域包括支援センター長、青野事務長補佐（書記）

【内容】

- ・会の冒頭に、今回から新たに加わった委員の紹介を行った。（大塚江東区福祉部長（代理出席：大江江東区福祉部地域ケア推進課長）、相原老健看護師長、藤田地域包括支援センター長（3名）
- ・院長挨拶の後、事務長より資料に基づき下記の事項について説明を行った。
 - ①平成28年度事業概況（4月～10月）
 - ・診療体制について
 - ・患者数の推移
 - ②救急体制
 - ・救急搬送受入件数推移
 - ③手術件数
 - ④地域連携室の取組み
 - ・紹介患者推移
 - ・逆紹介患者推移
 - ・主な紹介元
 - ⑤健康管理センター
 - ・健診者数推移
 - ・検査種類別推移
 - ⑥居宅介護支援事業所
 - ・事業概要
 - ・給付実数比較
 - ・居宅介護支援事業所の取組み
 - ⑦介護老人保健施設
 - ・入所者、短期入所者、通所者数の推移
 - ・在宅復帰率の推移
 - ・看取り状況の推移
 - ・地域との交流について
 - ⑧地域包括支援センター（長寿サポートセンター）
 - ・事業概要

- ・相談実績件数の推移

⑨地域との交流

- ・各種イベント、実習生等の受け入れについて

⑩今後のスケジュール・その他

- ・地域協議会の今後の開催月について
- ・地域包括支援センターの移転について
- ・病院第2駐車場のオープンについて

【質疑応答・意見交換】

Q. 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）について具体的に説明をお願いします。

A. 江東区では、平成29年度より地域包括支援センターについて再編し、区内で21か所になる。現在、当院が受け持っているところが豊洲にあるが、29年4月より病院2階に移転します。担当地域も亀戸エリアとなり概ね4千人～5千人が対象となります。

Q. 特に亀戸地区は高齢化が進んでおり、地域包括支援センターが病院内に移転してくることは非常に助かる。

A. 当院は、老健、居宅介護支援事業所もあり各部門で連携し地域の皆様に貢献できると考えております。

Q. 現在、老健施設への入所は可能ですか。

A. 可能です。当施設では在宅復帰者も長期入所者も受け入れております。

Q. 総合内科の先生が昨年に比べて少なくなったのはなぜですか。

A. 総合内科に関する病院の方針に変更はありませんが当院の規模で15人は多いので適正な人員数に調整しました。

Q. 地域包括ケア病棟の状況はいかがですか。

A. 本年3月より地域包括ケア病棟を開設しました。特に高齢者の急性期医療終了後の回復期にあたる方に包括ケア病棟を利用してもらっています。現在はほぼ満床状態が続いています。ただし、地域の方々への貢献も考えており、何床かは空けてあるのでいつでもお声掛けください。またレスパイトの入院にも対応しております。

○平成29年度より旧病院跡地（現在は病院第2駐車場）裏手にある元職業訓練校の解体工事が始まる。工事終了後は有料老人ホームができる予定との情報提供があった。

●今年度より地域協議会については、年度内で複数回行うことになった旨説明し、次回は3/8（水）14:00～で日程調整した。また29年度より6月及び11月で開催する旨確認した。

●最後に、院長より謝辞を述べ閉会した。

以上